



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月29日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小樋 誠二
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)西崎 友彦 (TEL)06(6202)3376
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,913	△4.7	3	—	49	—	45	—
2020年3月期第2四半期	2,008	7.1	△14	—	△2	—	△8	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.69	—
2020年3月期第2四半期	△3.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,218	2,151	41.2
2020年3月期	4,814	2,073	43.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,151百万円 2020年3月期 2,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,960	5.6	20	—	70	—	63	—	27.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の通期業績予想について未定としておりましたが、新たに算出しましたので公表いたします。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	2,338,001株	2020年3月期	2,338,001株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	19,421株	2020年3月期	19,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	2,318,593株	2020年3月期2Q	2,318,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のための経済活動の抑制により、急速に悪化しました。その後、緊急事態宣言解除後の段階的な経済活動の再開に伴い、緩やかに回復の動きがみられたものの、経済環境は依然として不透明な状況にあります。

海外においても新型コロナウイルス感染症の終息は見通せず、更なる経済への悪化懸念が高まっております。

このような状況下、当社は安定した利益の確保を最重要課題に掲げ、売上高の確保及び材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減などの原価低減活動に注力しましたが、生産・販売状況は大幅な受注減から一部に回復がみられるものの、引き続き部分的な臨時休業を実施する等厳しい状況が続いております。

売上高は前期に引き続き半導体市場や自動車業界の需要が落ち込み、主にタングステン・モリブデン製品が減少したことにより、1,913百万円(前年同四半期 2,008百万円)と前年同四半期比4.7%の減収となりました。

損益面は、販売減少に対し工場の部分的な臨時休業を含めた労務費、経費等の削減により、営業利益は3百万円(前年同四半期 営業損失14百万円)となりました。

営業外収益は雇用調整助成金等により53百万円となり、営業外費用は支払利息等により7百万円となりました。

結果、経常利益は49百万円(前年同四半期 経常損失2百万円)、四半期純利益は45百万円(前年同四半期 四半期純損失8百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

(電気・電子)

タングステン・モリブデン製品の売上高は、前期に引き続き半導体市場に加え自動車業界の需要低迷により、563百万円(前年同四半期 690百万円)と18.4%の減収となりました。

合金及び電気・電子部品の売上高は、光通信用タングステン合金が好調に推移し、360百万円(前年同四半期 330百万円)と9.2%の増収となりました。

その他製品は、市場での交換需要により自動車用電極部品が増加し、売上高は780百万円(前年同四半期 774百万円)と0.7%の増収となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は1,704百万円(前年同四半期 1,795百万円)と5.1%の減収となり、営業利益は20百万円(前年同四半期 営業損失0百万円)となりました。

(超硬合金)

超硬合金はトンネル工事等の中断、遅延等により、売上高は209百万円(前年同四半期 213百万円)と2.0%の減収となり、営業損失17百万円(前年同四半期 13百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は3,122百万円(前事業年度末 2,733百万円)となり、388百万円増加しました。主たる要因は、現金及び預金の増加273百万円、受取手形及び売掛金の増加102百万円、原材料及び貯蔵品の増加85百万円、電子記録債権の増加35百万円及び仕掛品の減少136百万円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は2,095百万円(前事業年度末 2,081百万円)となり、14百万円増加しました。主たる要因は、投資有価証券の増加46百万円及び有形固定資産の減少35百万円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,081百万円(前事業年度末 1,690百万円)となり、390百万円増加しました。主たる要因は、短期借入金の増加385百万円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は984百万円(前事業年度末 1,050百万円)となり65百万円減少しました。主たる要因は、長期借入金の減少55百万円及び役員退職慰労引当金の減少19百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,151百万円(前事業年度末 2,073百万円)となり78百万円増加しました。主たる要因は、四半期純利益45百万円及びその他有価証券評価差額金の増加32百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、未定としておりました2021年3月期通期業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定しましたので、公表いたします。

詳細につきましては、本日別途公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、今後業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	334,320	607,611
受取手形及び売掛金	892,721	994,862
電子記録債権	163,642	199,025
商品及び製品	50,812	61,540
仕掛品	851,002	714,898
原材料及び貯蔵品	395,856	481,077
その他	45,062	63,069
貸倒引当金	△211	—
流動資産合計	2,733,207	3,122,085
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	692,156	656,713
有形固定資産合計	1,474,942	1,439,499
無形固定資産		
	13,510	10,681
投資その他の資産		
投資有価証券	499,326	545,696
その他	106,260	112,841
貸倒引当金	△12,732	△12,732
投資その他の資産合計	592,853	645,805
固定資産合計	2,081,307	2,095,986
資産合計	4,814,514	5,218,071
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,554	330,377
電子記録債務	212,677	172,531
短期借入金	955,000	1,340,000
未払法人税等	9,034	15,413
賞与引当金	57,139	51,578
その他	283,493	171,706
流動負債合計	1,690,899	2,081,608
固定負債		
長期借入金	595,000	540,000
退職給付引当金	259,411	260,310
役員退職慰労引当金	76,952	57,295
その他	119,010	127,183
固定負債合計	1,050,374	984,788
負債合計	2,741,274	3,066,397

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△927,388	△881,741
自己株式	△27,804	△27,819
株主資本合計	1,814,429	1,860,061
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	258,809	291,612
評価・換算差額等合計	258,809	291,612
純資産合計	2,073,239	2,151,674
負債純資産合計	4,814,514	5,218,071

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,008,787	1,913,384
売上原価	1,765,290	1,664,984
売上総利益	243,496	248,399
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	94,747	89,955
賞与引当金繰入額	17,999	12,572
役員退職慰労引当金繰入額	7,525	6,750
退職給付費用	5,300	5,712
減価償却費	8,556	13,204
貸倒引当金繰入額	△15,912	△211
その他の一般管理費	139,769	117,409
販売費及び一般管理費合計	257,987	245,394
営業利益又は営業損失(△)	△14,490	3,005
営業外収益		
助成金収入	-	39,964
受取利息及び配当金	16,159	11,520
その他	2,375	2,420
営業外収益合計	18,534	53,906
営業外費用		
支払利息	6,116	7,571
その他	767	89
営業外費用合計	6,883	7,660
経常利益又は経常損失(△)	△2,839	49,250
特別損失		
固定資産除却損	1,784	-
特別損失合計	1,784	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△4,623	49,250
法人税、住民税及び事業税	3,603	3,603
法人税等合計	3,603	3,603
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,227	45,647

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。